

(別紙4(2))

事業所名: グループホームさしかた

作成日: 令和 7年 1月 14日

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	6	身体拘束の対象の利用者が多く、拘束が常態化しないよう代替策を考える必要がある。	代替案を考え高速対象者を減らし施設内での身体拘束ゼロを目指す、職員の身体拘束ゼロに向けて研修を増やし意識向上を図る。	身体拘束ゼロを目指し、身体拘束の対象者について毎月身体拘束が適正か見直し検討会を行う。また職員の意識づけのため義務付けされている回数よりも研修を増やす。	6ヶ月
2	35	BCPIに関して職員へ周知が出来ておらず、訓練などもまだ実施できていない。	職員全体でBCPの内容を理解し訓練を重ね災害や感染症の発生時に円滑に対応できる。	BCP(感染・災害)の内容を職員全員に周知徹底しシミュレーションや机上訓練を行う。訓練を通し支障があればマニュアルの見直し変更を行っている。	6ヶ月
3					ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。